

令和6年第2回さくら市議会定例会一般質問順番

令和6年6月5日（水）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1 番	岡村 浩雅 議員
2 番	加藤 誠一 議員
3 番	加藤 朋子 議員
4 番	手塚 定 議員

令和6年6月6日（木）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1 番	福田 克之 議員
2 番	鈴木 恒充 議員

1. 子ども子育て支援について

政府は本年度より3年間を、「こども・子育て支援加速化プラン」として様々な取り組みを行うことを示した。

- ①本年度より保育士の配置基準が見直された。本市における保育士配置の現状は。保育士不足は生じていないか。
- ②国からは処遇改善等加算がなされているが、現場の保育士からは給料アップにつながっていない、との声もある。保育園が適切にこれら加算を行っているのかチェックする体制はあるのか。市としてチェックできないのか。
- ③保育士の負担軽減のためのDX化の現状及び今後の取り組みについて。
- ④里帰り出産時における、現住所地自治体、産院との連携、サポート体制はどうなっているのか。

答弁を求める者 市長

2. ドローンの活用について

ドローンについては活用場面が増え、業務委託経費削減のためにも市職員自ら操縦する必要性が増した。

- ①「さくら市ドローン活用チーム」の現在の活動状況。
- ②当面の目標、最終的な目標は。
- ③担当職員が異動した場合の対応は。
- ④一等無人航空機操縦士、二等無人航空機操縦士、民間資格取得への取り組み及び支援制度は。
- ⑤映像データ保管の現状および今後の対策は。

答弁を求める者 市長

3. さくら市環境美化条例、農地法における雑草繁茂への対応について

平成21年3月に「さくら市環境美化条例」が改正され、違反者に対する代執行や過料まで盛り込まれ実効性あるものと改正された。また、農地に対しても農地法第42条で命令、代執行等の規定がある。

- ①現在までの行政指導、行政処分の件数は（農地、農地以外）
- ②どの程度で行政指導、行政処分が適用になるのか法文上あきらかではない。誰がどのように判断するのか。
- ③所有者不明土地や空き家の増加により雑草繁茂の苦情が多くなることが予想される。本市では上記法令適用を含め、どのように対応するのか。

答弁を求める者 市長、農業委員会会長

4. 窓口における「軟骨伝導イヤホン」の導入について

コロナ禍以降、市役所窓口には仕切り用のアクリル板が設置され、対応職員もマスク着用が増え、窓口での会話が非常に聞きづらい。さらに、高齢になるに従い加齢性難聴患者も増え、コミュニケーションがとりづらくなっている。真岡市では本年3月より高齢担当窓口、市民課窓口、支所窓口に「軟骨伝導イヤホン」を設置し、会話がスムーズになったと市民の評価も高い。本市でも導入したらどうか。

答弁を求める者 市長

1. 第3次さくら市総合計画について

「第3次さくら市総合計画」策定に際しての課題、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

2. お丸山公園再整備について

お丸山公園再整備に向けての考え、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

3. こども計画について

子ども施策に関する「こども大綱（令）」の策定が国に義務付けられたことにより、さくら市においても「こども大綱」とこども大綱を受けて作成される「都道府県こども計画」を勘案した「市町村こども計画」を定めることとなっている。

さくら市における、「さくら市こども計画」策定に向けての課題、スケジュールについて伺う。

答弁を求める者 市長

4. こども誰でも通園制度について

昨年度、国の「こども未来戦略会議」の方針案において、「こども誰でも通園制度」の創設を岸田首相が表明した。

制度化に先駆け、令和5年度からは試行的事業としてスタートしている自治体があるとともに、この制度の創設により、保育園など従来の利用要件を緩和、親が就労していない場合でも、保育園や認定こども園、幼稚園などに時間単位でこどもを預けられるようになる。

さくら市における「こども誰でも通園制度」の取り組みに向けての課題、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

5. 窓口サービスの現状、課題、今後の対応について

さくら市では、市民への窓口サービスとして、市民課窓口に「受付カード発行機」を導入し、待ち混雑や待ち時間に差異が出ないような対応をしている。

さらには、ワンストップサービスやライフイベント対応窓口の導入を行い、利用者の利便性向上を図っているが、現在はどうのような状況となっているのか。また、令和5年第3回定例会において、「書かない窓口」の実現に向けた取り組みを推進するとの答弁があったが、その進捗状況について伺うとともに、市役所全庁における窓口サービスの現状、課題、今後の対応についての考え方について伺う。

答弁を求める者 市長

1. 子育て支援さらなる進化を

子育て支援のさらなる充実・進化を目指し、以下の事項に関して市長の方針を問う。

- ①「こども誰でも通園制度」の実装スケジュールは
- ②常設子どもの居場所設置計画は
- ③学童保育の今後は

答弁を求める者 市長

2. 安全安心な老後のために

公的支援に依るところが大きい独居高齢者の急増に備え、福祉施策の構造的改革が必要だと感じるが、以下の事項に関して市長の方針を問う。

- ①独居老人の住居確保は
- ②日常生活支援は
- ③財産管理、終活支援、死後の対応は

答弁を求める者 市長

3. 農福連携の拡充を

障害者や引きこもり当事者等が、担い手不足や高齢化に悩む農業分野で活躍し、社会参画を実現できる農福連携はウィンウィンの素晴らしい仕組みと考えるが、当市での現状と今後を問う。

答弁を求める者 市長

4. 学校働き方改革の進化を

教職員の負担軽減のため、地域のボランティアを教育現場にさらに導入してはと考えるが、当市の現状と今後は。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 公文書の管理について

公文書の管理については、さくら市合併以降、冊子をデータにより管理し、あらかじめ設定した保存年限に基づき、旧喜連川高校に保管されている。

その現状と、課題について伺う。

答弁を求める者 市長

2. 公共施設の長寿命化について

①公共施設の長寿命化には多額の予算が必要となるが、財源の確保はできているのか。また、長寿命化を予定していた該当施設の見直しをする考えはあるのか。

②長寿命化対応への現在の計画と現状、達成見込みについて伺う。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 市職員の採用試験、人事交流や組織改編について

新年度がスタートし、本市においても新人職員を目にする機会が増えた。

大手就職調査会社によると、公務員（国、地方含む）離れが増えている。併せて公務員にはなったがキャリアショックと呼ばれる 20～30 歳代の離職も増えている。

理由は、少人数での多種にわたる業務遂行や、カスタマーハラスメント、メンタルヘルスの不調が主で、課題解決が必要と考える。

そこで、組織の改編や職員（正規、定年延長、会計年度を含む）の適正な配置、国や県などとの役所間の人事交流に加え、民間企業や他の自治体（友好都市含む）との交流や、採用年齢条件の撤廃など新たな職員採用試験のあり方について、市としての考え方について伺います。

①現在の対応

②関係機関（民間）との連携

③課題、問題点

④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊制度が発足し、全国的に各市町村においても、様々な活動が展開している。

さくら市においても、隊員の数が増えており、各隊員が道の駅や農業などに従事しており、任期終了後のことを見据え、地域に溶け込んでいると聴いている。

国では今年度に入り、インバウンド強化など、地域おこし協力隊に外国人を積極的に採用する支援策が盛り込まれた。

そこで、移住の推進やグローバル化の観点から、発信力強化や、今後の社会情勢を考慮して取り組みが必要と考えるが、市としての考え方について伺います。

①現在の対応

②関係機関との連携

③課題、問題点

④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長

3. さくら市制 20 周年について

来年、本市は市制 20 周年を迎えます。

市長の新年の挨拶や 3 月の予算議会でも、準備を進めるとのことでした。

市民からも、市制 20 周年について問い合わせがあるが、残り 1 年となり、現在決まっている行事やなど内容について伺います。

①現在の対応

②課題、問題点

③今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長

1. 第2期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標について問う

- ①地域産業を活性化させ、安定したしごとを創出する。
- ②定住人口・交流人口を増やす。
- ③結婚・出産の希望をかなえ、子育てと教育の支援を充実させる。
- ④地域での確かな暮らしを確保する。

以上4つの基本目標について、具体的な施策とその進捗状況、達成見込みについて伺う。

答弁を求める者 市長

1. 子ども子育て支援について

政府は本年度より3年間を、「こども・子育て支援加速化プラン」として様々な取り組みを行うことを示した。

- ①本年度より保育士の配置基準が見直された。本市における保育士配置の現状は。保育士不足は生じていないか。
- ②国からは処遇改善等加算がなされているが、現場の保育士からは給料アップにつながっていない、との声もある。保育園が適切にこれら加算を行っているのかチェックする体制はあるのか。市としてチェックできないのか。
- ③保育士の負担軽減のためのDX化の現状及び今後の取り組みについて。
- ④里帰り出産時における、現住所地自治体、産院との連携、サポート体制はどうなっているのか。

答弁を求める者 市長

2. ドローンの活用について

ドローンについては活用場面が増え、業務委託経費削減のためにも市職員自ら操縦する必要性が増した。

- ①「さくら市ドローン活用チーム」の現在の活動状況。
- ②当面の目標、最終的な目標は。
- ③担当職員が異動した場合の対応は。
- ④一等無人航空機操縦士、二等無人航空機操縦士、民間資格取得への取り組み及び支援制度は。
- ⑤映像データ保管の現状および今後の対策は。

答弁を求める者 市長

3. さくら市環境美化条例、農地法における雑草繁茂への対応について

平成21年3月に「さくら市環境美化条例」が改正され、違反者に対する代執行や過料まで盛り込まれ実効性あるものと改正された。また、農地に対しても農地法第42条で命令、代執行等の規定がある。

- ①現在までの行政指導、行政処分の件数は（農地、農地以外）
- ②どの程度で行政指導、行政処分が適用になるのか法文上あきらかではない。誰がどのように判断するのか。
- ③所有者不明土地や空き家の増加により雑草繁茂の苦情が多くなることが予想される。本市では上記法令適用を含め、どのように対応するのか。

答弁を求める者 市長、農業委員会会長

4. 窓口における「軟骨伝導イヤホン」の導入について

コロナ禍以降、市役所窓口には仕切り用のアクリル板が設置され、対応職員もマスク着用が増え、窓口での会話が非常に聞きづらい。さらに、高齢になるに従い加齢性難聴患者も増え、コミュニケーションがとりづらくなっている。真岡市では本年3月より高齢担当窓口、市民課窓口、支所窓口に「軟骨伝導イヤホン」を設置し、会話がスムーズになったと市民の評価も高い。本市でも導入したらどうか。

答弁を求める者 市長

1. 第3次さくら市総合計画について

「第3次さくら市総合計画」策定に際しての課題、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

2. お丸山公園再整備について

お丸山公園再整備に向けての考え、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

3. こども計画について

子ども施策に関する「こども大綱（令）」の策定が国に義務付けられたことにより、さくら市においても「こども大綱」とこども大綱を受けて作成される「都道府県こども計画」を勘案した「市町村こども計画」を定めることとなっている。

さくら市における、「さくら市こども計画」策定に向けての課題、スケジュールについて伺う。

答弁を求める者 市長

4. こども誰でも通園制度について

昨年度、国の「こども未来戦略会議」の方針案において、「こども誰でも通園制度」の創設を岸田首相が表明した。

制度化に先駆け、令和5年度からは試行的事業としてスタートしている自治体があるとともに、この制度の創設により、保育園など従来の利用要件を緩和、親が就労していない場合でも、保育園や認定こども園、幼稚園などに時間単位でこどもを預けられるようになる。

さくら市における「こども誰でも通園制度」の取り組みに向けての課題、またスケジュール等について伺う。

答弁を求める者 市長

5. 窓口サービスの現状、課題、今後の対応について

さくら市では、市民への窓口サービスとして、市民課窓口に「受付カード発行機」を導入し、待ち混雑や待ち時間に差異が出ないような対応をしている。

さらには、ワンストップサービスやライフイベント対応窓口の導入を行い、利用者の利便性向上を図っているが、現在はどうのような状況となっているのか。また、令和5年第3回定例会において、「書かない窓口」の実現に向けた取り組みを推進するとの答弁があったが、その進捗状況について伺うとともに、市役所全庁における窓口サービスの現状、課題、今後の対応についての考え方について伺う。

答弁を求める者 市長

1. 子育て支援さらなる進化を

子育て支援のさらなる充実・進化を目指し、以下の事項に関して市長の方針を問う。

- ①「こども誰でも通園制度」の実装スケジュールは
- ②常設子どもの居場所設置計画は
- ③学童保育の今後は

答弁を求める者 市長

2. 安全安心な老後のために

公的支援に依るところが大きい独居高齢者の急増に備え、福祉施策の構造的改革が必要だと感じるが、以下の事項に関して市長の方針を問う。

- ①独居老人の住居確保は
- ②日常生活支援は
- ③財産管理、終活支援、死後の対応は

答弁を求める者 市長

3. 農福連携の拡充を

障害者や引きこもり当事者等が、担い手不足や高齢化に悩む農業分野で活躍し、社会参画を実現できる農福連携はウィンウィンの素晴らしい仕組みと考えるが、当市での現状と今後を問う。

答弁を求める者 市長

4. 学校働き方改革の進化を

教職員の負担軽減のため、地域のボランティアを教育現場にさらに導入してはと考えるが、当市の現状と今後は。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 公文書の管理について

公文書の管理については、さくら市合併以降、冊子をデータにより管理し、あらかじめ設定した保存年限に基づき、旧喜連川高校に保管されている。

その現状と、課題について伺う。

答弁を求める者 市長

2. 公共施設の長寿命化について

①公共施設の長寿命化には多額の予算が必要となるが、財源の確保はできているのか。また、長寿命化を予定していた該当施設の見直しをする考えはあるのか。

②長寿命化対応への現在の計画と現状、達成見込みについて伺う。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 市職員の採用試験、人事交流や組織改編について

新年度がスタートし、本市においても新人職員を目にする機会が増えた。

大手就職調査会社によると、公務員（国、地方含む）離れが増えている。併せて公務員にはなったがキャリアショックと呼ばれる 20～30 歳代の離職も増えている。

理由は、少人数での多種にわたる業務遂行や、カスタマーハラスメント、メンタルヘルスの不調が主で、課題解決が必要と考える。

そこで、組織の改編や職員（正規、定年延長、会計年度を含む）の適正な配置、国や県などとの役所間の人事交流に加え、民間企業や他の自治体（友好都市含む）との交流や、採用年齢条件の撤廃など新たな職員採用試験のあり方について、市としての考え方について伺います。

①現在の対応

②関係機関（民間）との連携

③課題、問題点

④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊制度が発足し、全国的に各市町村においても、様々な活動が展開している。

さくら市においても、隊員の数が増えており、各隊員が道の駅や農業などに従事しており、任期終了後のことを見据え、地域に溶け込んでいると聴いている。

国では今年度に入り、インバウンド強化など、地域おこし協力隊に外国人を積極的に採用する支援策が盛り込まれた。

そこで、移住の推進やグローバル化の観点から、発信力強化や、今後の社会情勢を考慮して取り組みが必要と考えるが、市としての考え方について伺います。

①現在の対応

②関係機関との連携

③課題、問題点

④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長

3. さくら市制 20 周年について

来年、本市は市制 20 周年を迎えます。

市長の新年の挨拶や 3 月の予算議会でも、準備を進めるとのことでした。

市民からも、市制 20 周年について問い合わせがあるが、残り 1 年となり、現在決まっている行事やなど内容について伺います。

①現在の対応

②課題、問題点

③今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長

1. 第2期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標について問う

- ①地域産業を活性化させ、安定したしごとを創出する。
- ②定住人口・交流人口を増やす。
- ③結婚・出産の希望をかなえ、子育てと教育の支援を充実させる。
- ④地域での確かな暮らしを確保する。

以上4つの基本目標について、具体的な施策とその進捗状況、達成見込みについて伺う。

答弁を求める者 市長